

2022年2月10日

各 位

中小企業ホールディングス(株)  
代表取締役社長 岡本 武之

**ダチョウ抗体を担持させた不織布マスクで  
新型コロナウイルスオミクロン株の可視化も確認**

本日、国立研究開発法人 科学技術振興機構（JST）より「**ダチョウ抗体を担持させた不織布マスクで新型コロナウイルスオミクロン株の可視化も確認 ～変異株への高い反応性が迅速な感染防御技術の開発に寄与～**」が発表となりましたのでお知らせします。

- ◇ 京都府公立大学法人京都府立大学の塚本康浩学長らの研究グループは、2021年10月1日に、ダチョウ抗体を担持させた口元フィルター入りの不織布マスク（以下「ダチョウ抗体担持マスク」という。）で呼気からのSARS-CoV-2（新型コロナウイルス）の可視化に成功したことを発表しました。
- ◇ その後、11月28日に、国立感染症研究所が、海外における感染情報と国内のリスク評価に基づき、SARS-CoV-2のB.1.1.529系統（オミクロン株）を、懸念される変異株に位置付けたことを受け、オミクロン株感染者が使用したダチョウ抗体担持マスク（臨床検体）での可視化の検証を進めたところ、このたび、オミクロン株の可視化が確認されました。
- ◇ 全世界で新型コロナウイルスが拡大し、市中感染が増加する中では、迅速な感染モニタリングと感染防止が重要です。ダチョウの抗体を担持した口元フィルター入りの不織布マスクの利用は、装着するだけで手軽に、且つ迅速にモニタリングが可能となり、今後の更なる利用が期待されます。
- ◇ オミクロン株はスパイクタンパクに多くの変異部分が確認されており、今後も、新型コロナウイルスは変異を続けると予測される中、PCR検査の感度低下やワクチンの効果低下が懸念されます。ダチョウ抗体は、変異株にも効果的に結合できる上に、開発のリードタイムが非常に短いので、感染防御製品やウイルス検出キット等の迅速な開発に貢献することが期待できます。

国立研究開発法人 科学技術振興機構（JST） の発表内容

<https://www.jst.go.jp/pr/announce/20220210-2/index.html>

プレスリリース内容

<https://www.jst.go.jp/pr/announce/20220210-2/pdf/20220210-2.pdf>

以上